

## 中国語「場所詞」とその教授法について (その二)

— 「存現文」を視点にして—

楊 志剛

布施 英憲

### (一) 存現文の主語について

#### 1. 中国語文の主語をめぐって

周知のように、中国語は日本語とは違って、基本的に日本語のように格助詞「が」で主語を示す働きがなく、「は」で主題を表すものもない。趙元任氏の中国語の文では「主語は主題で、述部はそれについての説明である」という論は中国語研究界に広く影響を与えている。中国語文の主語について、大河内康憲が(1997)「中国語の動詞文の主語(厳密には主語のところにくる名詞)は動作の主体でないものが多い。」と述べている。

本稿では主題と主語については論じないが、「存現文」の構造を正しく教授するためには、趙元任氏の主張、また房玉清の下記の様な考えが有益ではないかと思う。

房玉清(2001)は「中国語は形態的な変化がないので、主語と述語を確定する際に、形態的な標識で判断することが難しい。むしろ、主語と述語との関係は動作主と受動者との関係ではなく、動作主と動作との関係である。」と述べている。そして中国語の主語と述語との関係については、次のように述べている。

① 主語は話題であり、述語は説明する部分である。たとえば、

(1) 新来的同学分了班了。

(2) 钥匙丢了。

(3) 这把椅子坐着很舒适。

(4) 你们身上，寄托着中国与人类的希望。

房玉清は「もし我々が授受関係を考慮せず、しかも文の順序から考えてみて、それに適当する文の意味を考えれば、ある程度客観的な基準を取り出すことができる。中国語は常に伝えたい情報を文の前に置く。この部分が文の主語であり、つまり主語である。その後ろの部分は、この話題に対する述語である部分、つまり述語である。先に示した文中の『新来的同学』、『钥匙』、『这把椅子』、『你们身上』などはみな主語であるが、我々がそれを主語として指定したのは授受関係から判断したわけではない。それは話題である。」と述べている。

- ② (5)は既知の情報をもち、述語は新情報を表している。たとえば、  
他病了。  
他的病好了。

房玉清「(5)の文を話す時に、聞き手はもう『他』が誰を指すのかをすでに知っている。主語（話題）は既知の情報であり、『病了』は新情報である。(6)の文を話す時に、聞き手はもう『他的病』ということを知っていて、話し手から伝わるものは『好了』という新情報である。これを説明している。

- ③ (7)は指定されている人や物を指す。

「(7)は、主語とは指定された人や物を指すという、強い傾向をもっている。話し手と聞き手は両方ともが、『誰か』あるいは『何か』を理解している。

来客人了。

客人来了。

「例(8)の『客人』は目的語の位置にある。それは事前に予約しているが、例文(8)の『客人』は主語の位置にあるので、事前予約している客が来たという意味になる。また、指定した名詞には常に「那」を伴うが、指定されていない名詞には、普通数量修飾語を伴う。たとえば、

- 「(9) 1等着一个人。 → (9') 有一个人 在门口等着。」

と房玉清が説明している。

## 2. 存現文の主語をめぐって

大河内康憲は現象文（存現文）の主語について、

(10) 家里来了一个客人。（家にひとりのお客がきた。）

(11) 墙上挂着一张地图。（壁に1枚の地図がかかっている。）

などを例にして、「例文(10)の『家里』や例文(11)の『墙上』は『来た』人、『かかっている』ものそのものである。……語序の『S・V・O』から考えれば、動作主体が後ろにくる訳で、きわめてドラスチックな目的語という訳ではない」。現象文の特徴は「『場所名詞（または時間）・動詞・目的語』という構成で、文頭に場所あるいは時間を示す名詞が来て、一般の名詞がこないことである。」と述べている。しかし、ここでは、存現文の①主題＝描写の関係を明示していない。また、②述語が主語の位置にきた場所名詞に対して、要求する役割を明示していない。さらに、③存現文の分類は「場所名詞（または時間）・動詞・目的語」と文法順序を示すだけで、存現文の機能による多様性を明示していないのである。

一方、現在使用されている中国語教科書を見ても、拙稿（2004）で検討したように、「存現文」の教授法については、まだまだ研究の余地があると思われる。そこで、まずは日本人の中国語学習者が間違いやすい問題を解決するために、趙元任氏および房玉清の言う主題論の導入が必要であると思う。

房玉清の主題論によると、中国語の存現文の主語は、場所を表す言葉であり、述語の部分は、その場所に対する描写や説明である。

(12) 石凳上坐着一位老人。（存在）

(13) 树上飞过来一只喜鹊。（出現）

(14) 班里走了两个同学。（消失）

例文(12)、(13)、(14)はいずれも場所名詞が主語の位置を占め、話題となっている。述語の部分は、それぞれの場所に対して、何が存在している

か、何が出ているか、何がなくなったかを記述している。逆に考えてみると、述語の部分の事実によって、主語の場所に出てくる言葉が場所名詞でなければならないことを要求している訳である。例文(12)の述語領域の「坐(坐る)」という動詞は「どこ・に」という場所を要求し、例文(13)と例文(14)の述語領域の「飞(飛ぶ)」と「走(転校)」いう動詞は「どこ・から」を要求するのである。

もう一つ注意しておきたいことは、存現文の主語(主題)について、場所のほかに、時間も主語(主題)であるとした説明が多いことである。たとえば、

(15) 这时跑过来一个警察。

(16) 昨天来了两个客人。

しかしながら、動詞が主題の場所性を要求するという角度から考えてみると、例文(15)の中の「这时」はこの文の主語ではない。むしろ主語の「どこ」が省略されているから、「这时」はこの文の時間を表現する状況語なのである。その原因は、動詞「跑」が要求しているのは「这时」ではなく、やはり「どこ・から」であるためである。例文(16)でも場所を表すものは、たとえば「学校」であったり「你家」であったりする。要は話し手と聞き手両方共に分かっているので省略したのである。しかし、例文(15)の動詞「来」が要求しているのは「いつ」はなく、やはり「どこ・に」である。例文(16)も同じ道理である。

## (二) 存現文のタイプ

場所性を持つ主語(主題) = 述語(描写・説明) という存現文の機能から見ると、中国語の場合、場所を主題にした文は次のようなタイプがあると考えられる。

存現文： (場所) ← (描写・説明)

(17) 北京 ← (夏天)很热。

(18) 前边 ← 是邮局。

- (19) 我家 ← 有五口人。  
 (20) 黑板上 ← 写着字。  
 (21) 羊圈里 ← 跑了一只羊。  
 (22) 家里边 ← 来了一个人。

例文(17)は確かに描写・説明する機能を持つものであるが、述語の部分は形容詞からなっているため、ある場所の性質、または程度を説明しているので、存在・出現・消失というニュアンスはない。そこで本稿では省くことにする。例文(18)は判断動詞「是」を使うので、説明するというよりは、判断するニュアンスが強い。例文(19)は存在動詞「有」だけで基本的な存在を表す文なので、詳しい状況を語っていない。例文(20)は「動詞+着」という形をとって存在の状態を表す文である。例文(20)と例文(22)はそれぞれの動詞の意味によって、「消失」または、「出現」を表現する文である。

上記の(17)～(22)の例文をまとめると、次のような2つのタイプに分けることができる。

- a. 「存在」を表す文            場所 ← 有, 是, 動詞+着  
 b. 「出現・消失」を表す文   場所 ← 出現/消失動詞+(方向補語)+了  
 タイプaの文は、単純に存在を表していて、お互いに交換することができ、交換しても基本的に存在を表す意味が変わらない。たとえば、

- (23) 石凳上坐着一位老人。  
 (23') 石凳上有一位老人。  
 (23'') 石凳上是一位老人。  
 (24) 炕头上蹲着一只猫。  
 (24') 炕头上是一只猫。  
 (24'') 炕头上有一只猫。

タイプbの文は、ある場所にある物や人物が現れることを表し、方向補語を伴う場合が多い。タイプbの文はタイプaとは大きく違っていて、夕

タイプaの文は普通、静止的な動作を表し、場所詞「石凳・炕头」は動作の終点を表しているが、タイプbの文は常に移動動作を表し、場所詞は動作の終点を表す場合もあれば、動作の起点を表す場合もあるのである。動作の起点を表す文には方向補語を伴う場合が多い。

すなわち「中国語では、ある動作は実現するために、あるいはその動作に関する空間関係を説明するために、その動詞や『介詞』が場所詞を要求する」のである（拙稿2004年）。存現文は、ある場所に対する描写・説明文であるので、存在を表す動詞や移動・消失を表す動詞も同様に主語（主題）に対して、場所詞を要求するわけであるが、前置詞は（介詞）を要求しない。したがって、存現文の主語（主題）の前には前置詞（介詞）を介する必要性がなくなるのである。

しかし、日本語の場合は、名詞は格助詞を必要とするので、中国語の存現文を日本語に訳した場合、そこを適宜考慮する必要がある。前にも述べたようにタイプaの存在を表す文の主語については、「～に」、「～には」で済ませることができるが、タイプbの存在文の場合、その移動動詞と場所との関係を考えなければならないのである。つまり、動作の終点を表す場合は、日本語の表現では「～に」、「～には」でよいが、動作の始点を表す場合には「～から」「～からは」で表現する必要がある。たとえば、

- (25) 家里来了一位客人。    (終点：～に)
- (26) 树上飞过来一只喜鹊。    (終点：～に)
- (27) 桃子里出来了一个男婴儿。(起点：～から)
- (28) 东边走过来了几个留学生。(起点：～から)

例文の(25)、(26)の主語「家里」と「树上」は、それぞれ動詞「来る」や「飛ぶ」の終点を表しているので、日本語に翻訳する際、「～に」と訳す。しかし例文(27)、(28)の主語の「桃子里」や「东边」は、それぞれ動詞「出てくる」や「やってくる」といった起点を表しているので、日本語では「～から」と表現しなければならない。

### (三) 存現文の教授内容と教える順序

以上の考察から、以下のように中国語の「存現文」における教授内容を構成し、それに即して中国語存現文を教授する順序も提案したい。

ステップ①：存現文の主語の場所性および述語の特性

(主題＝描写・説明関係の説明)

ステップ②：存在を表す文の構成

(是, 有, 動詞＋着およびその互換性)

ステップ③：出現・消失を表す文の構成

(動詞による起点・終点を表す場所詞及び日本語の訳し方)

### (四) 中国語「場所詞」・「存現文」の授業案および実践授業

[ 一段階：「場所詞」]

- 1 教授内容とその狙い： 中国語の場所表現及び場所詞の理解
- 2 提出項目：
  - ① 動詞や「介詞」および存現文によっては場所詞が必要であること
  - ② 場所詞の構成

授業の流れ：

#### (1) 場所詞の定義について

場所詞とは、前置詞「在（…に）」、「到（…まで）」、「从（…から）」などの後にある名詞のことであり、移動動詞「去（…行く）」、「来（…来）」などの目的語であって、且つ「那儿（どこ、どちら）」を用いて疑問を發し、「这儿」、「那儿」を用いて代替することのできる名詞です。

日本語の場所表現を考えて中国語に訳してみてください。

日本語	中国語
1 あなたは <u>どこ</u> で買ったの？	(            )
2 彼は <u>中国</u> から来た。	(            )
3 <u>そこに</u> 一人の子どもが坐っている。	(            )
4 <u>張先生</u> のところにはパソコンがある。	(            )
5 <u>学校</u> にはグラウンドがある。	(            )
6 <u>東</u> から一人の留学生が来た。	(            )

## (2) 日本語の場所表現と中国語の場所詞との違い

日本語では格助詞「を」、「に」、「へ」、「で」、「から」、「まで」などを用いて場所を表すことが出来ますが、中国語では、普通名詞は場所名詞として使えません。

日本語の場所表現と中国語の場所詞を較べて下さい。

(日本語)	(中国語)
1 家の <u>前</u> を通り過ぎる	(            )
2 <u>壁</u> に絵を貼る	(            )
3 太陽は <u>東</u> から昇って…	(            )
4 <u>飛行機</u> から降りる	(            )
5 <u>桃</u> から男の子が産まれた…	(            )

## (3) 中国語の場所詞および場所詞に変更する手続き

中国語には日本語の格助詞が存在しないので、もともと場所名詞ではない言葉は場所名詞に直さなければなりません。

次の手続きを覚えましょう。



	(分類)	(場所を表すしるし)
1)	場所詞(地名)	日本 上海 北海道 無標
	場所詞(名詞)	学校 宿舍 食堂 無標
	場所詞(団体)	外交部 税务局 党中央 無標
2)	人称詞	我 张老师 那儿 这儿
3)	方向詞	东 前 后 边儿 面儿 头儿
4)	名詞	历史 桌子 上 中 里

#### (4) 動詞や「介詞」による場所詞の支配

中国語の動詞は日本語と同じく、動詞や介詞は、後ろに目的語を要求します。

次の動詞や前置詞と名詞との関係を考えてみましょう。

動詞 場所詞を要求しない動詞： 吃，写……

場所詞を要求する動詞： 去，来，在……

介詞 場所詞を要求しない前置詞： 用，给，跟，和，对……

場所詞を要求する前置詞： 在，从，到，离……

#### [二段階：「存現文」]

- 1 教授内容とその狙い：
  - ① 存現文の主語と述語の関係
  - ② 日本語の適当な表現
- 2 提出項目：
  - ① 存現文の構造
  - ② 存現文のタイプ

授業の流れ：

(1) 存現文による場所詞の支配

存現文の役割： 場所 ← (要求する) — 描写・説明する  
(主語・述べられ部分) (述語・述べる部分)

(2) 存現文の定義

存現文とは、ある場所に対して、その場所に（から）ある人・ものが存在したり、現れたり、なくなることを描写・説明する文です。存現文述語は場所詞としての主語を要求しますので、前置詞「在・从」などは必要としません。

(3) 存現文のタイプ

下記の文の主語（主題）を見て、動詞を取り換えて意味も考えてみましょう。

a. 「存在」を表す文：（下線の部分を日本語に訳してください）

	中国語	日本語
有：	<u>张老师那儿</u> 有三台电脑。	( )
	<u>我家</u> 有五口人。	( )
是：	<u>学校前边儿</u> 是商店。	( )
	<u>左边</u> 是日本学生、 <u>右边</u> 是留学生。	( )
動詞＋着：	<u>树下</u> 坐着几个同学。	( )
	<u>墙上</u> 挂着一张画儿。	( )

b. 「出現・消失」を表す文

下記の文の動詞と主語の関係を考えてみましょう。

	中国語	日本語
移動動詞：	<u>家里</u> 来了一个客人。	( )
	<u>那边儿</u> 开了一家商场	( )
	<u>桃子里</u> 跳出来一个男孩。	( )
	<u>班里</u> 走了一个学生。	( )
	<u>东边儿</u> 开来了一辆丰田。	( )
(自然現象)：	<u>          </u> 下雨了。	( )

(五) 教授プランの実施とアンケート

上記のような授業案を下記の通りに行った。

時 間： 平成17年7月24日

場 所： 藤女子大学文学部

実施時間： 30分の予定だったが、実際には50分かった。

学生レベル： 二年生（中国語の学習経験一年以上）

人 数： 34名

授業の終わったあとアンケートをとり教授プランの実効性を検証した。  
その結果は以下のとおりである。

アンケートの設問：

① 中国語の場所詞と日本語の場所表現の相違について

回答の一部：

- ・日本語の場所表現では、助詞によって表現される。しかし中国語ではその名詞によってそれぞれ場所詞がある。
- ・日本語の名詞・地名にも「から」「に」などをつける。「人称詞+那儿」「方向詞+边儿」といった特定の使い方は少ない。

- ・日本語は場所と言っただけで意味が通じるが、中国語は場所に「上」などをつけなければいけない。
- ・場所を表す語をつけないといけない。しかも「上」などつい「うえ」と訳しそうになるが、そうではないことがわかった。
- ・場所詞以外の言葉を場所名詞にしなければいけない所が日本語と違う。
- ・先生が例に挙げた「他从飞机上下来了」は日本語の場所表現との違いがはっきりと現れています。日本人がみると何故上なのか？と思ってしまいます。「东边儿来了学生」も日本人は「从」をつけてしまいます…
- ・中国語には、格助詞が存在していないから、もともと場所詞ではない言葉は場所名詞に直す必要がある。
- ・日本語では格助詞で表せることが中国語では、場所ごとに必要なしがあるので、ややこしい。
- ・日本語は場所表現についてもアバウトだということがわかった。
- ・「中国から」をつい「从中国」といってしまいがいですが「中国」だけで十分と知り驚きました。
- ・中国語の名詞はそのまま場所詞にはならなくて、よけいな物をつけなくてはならない。

② 中国語の場所詞の変更手続きについての感想、そして難かった所は。

回答の一部：

- ・分類に対して場所を表すしるしが各名詞で違うので、覚えるのは難しいと思うが、覚えてしまえば、簡単だと思う。
- ・日本語では、方向詞（東，上，前）だけでも場所が表せるが、中国語では（东，前，后）＋（边儿，面儿，头儿）を使わなくては表せない。名詞もまた、後ろに（中，里）が必要。人称詞と方向詞が難しい。
- ・人称詞，方向詞によって，場所を表すしるしが変わることが難しいです。

- ・場所詞にしなければいけない単語と、どの場所詞を使うのかが難しい。
- ・場所をあらわすしるしを必要とするものと必要としないものの区別が難しい。
- ・人称詞，方向詞，名詞＝場所詞になるということは理解できたけれど，うまく訳したりすることができなくて難しい。
- ・品詞によって場所を表すしるしが変わるところが難しいと思った。

### ③ 存現文の全体について

回答の一部：

- ・存現文を少し理解できた気がします。判断が難しいですが，よく考えると，理解できます。
- ・難しいと思ったけど，だいたいはわかった。上記（存現文による場所詞の支配）のように例をいくつかあげてくれたので，具体的に理解することができた。
- ・存現文では「在・从」などを必要としないことはわかったのですが，いまいち訳し方が分かりません。
- ・存現文には日本語のように「～から」，「～まで」のような前置詞がいらない事におどろきました。ついつい「从」や「在」を名詞の前につけてしまうので，これからは気をつけたいと思います。まだ「(札幌)昨天下雨了。」の例文も分かりやすかったです。
- ・特に一年次では，名詞の後ろに「上」が場所を表す，などのようにしか教わらず，ぼんやりした感じだったのが，今回はっきりできて良かったです。
- ・去年の中国語でも存現文については学びましたが，疑問が多かったです。今回，場所名詞，介詞や実に中国語の文章の作り方が分かりました。
- ・存現文についての様々な例文を読んだり，問題を何度も解かなければ，この時間だけでは理解も不十分であるし，定着もしないと思う。

- ・難しく、まだ理解できない所がある。
- ・訳し方がまだよく分かりません。
- ・難しかったが、プリントを使っただけで、分かりやすかったです。
- ・理解は出来たが、難しい。
- ・例文が出されると、分かりやすかった。
- ・難しくあまりよく分からなかった、でも慣れたら、日本語の場所表現よりも簡単だと思う。

#### (六) アンケートの所見及び今後の課題

アンケート結果を見て、「難しい」という答えが多かったが、①予定していた目標、たとえば、場所詞の概念、場所詞へ変更する手続き、動詞の主語に対して支配（存現文）する主語には前置詞が不要なこと、日本語への翻訳などはほぼ達成できたと思う。しかし、②授業時間に限りがあったため、練習問題が不十分であった。また、③学生が一年生で学んだ文法項目を十分には把握できていなかったため、存在を表す「是」の文の説明はもっと詳しくすれば良かったと感じている。さらに、④存現文の日本語の訳語をさらに工夫する必要があった。

#### 〈参考文献〉

- (1) 大河内康憲「日中対照文法論—主語及びそれとかわる問題—」『日本語と中国語の対照研究論文集』1997年、くろしお出版。
- (2) Y.R.Chao *A Grammar of Spoken Chinese* 1965年、商務印書館。
- (3) 房玉清《实用汉语语法》2001年、北京大学出版社。
- (4) 石沢弘子他『みんなの日本語初級Ⅰ・教え方の手引き』2000年、スリーエーネットワーク。
- (5) 拙稿「中国語『場所詞』とその教授法について（その一）」2004年、『藤女子大学紀要』第42号。